

3月11日 定例会議会
文教福祉常任委員会

1354人の願いを込めた

学校給食無償化請願

否決



新日本婦人の会・野洲支部

山中佐智子さん

委員会に請願者として議員のみなさんに、説明・お願いをしました。

私たちが署名のお願いに回った時に「小中学校の子どもが3人います。年間10万円以上の給食費で本当に大変です。よろしくお願ひします」などと切実なお声をお聞きました。

保護者の切実な声をご理解いただき、ぜひ野洲市でも無償化をとお願ひしましたが、届きませんでした。本当に残念です。県下でも無償化する市町が増えていきます。引き続き実現をめざします。

文教福祉常任委員会で、請願者の説明後、議員間で審議。その後の採決では全議員が反対（田中陽介、石川恵美、奥山文一郎、東郷克己、山崎敦志議員）し、不採択（否決）になりました。 ※委員は6人。木下伸一議員は委員長で採決加わりません。

1354人の署名とともに市議会に提出されていた「学校給食の無償化を求める請願」は去る11日の文教福祉常任委員会で否決されました。市民から「なぜなんですか？」と批判が寄せられています。

審議した文教福祉常任委員会の請願採決では全員が反対しました。

反対理由は、「予算が億円単位で必要。国が実施すべき」「滞納世帯も給食は食べられる。（実施の）緊急性はない」「単価1食277円。あれだけの値段で食べられる。無償化は必要ない」などですが、市民の立場に立ったものとは思えません。

全国的にも、県下でも無償化実施する自治体が増えています。これらの自治体では、暮らしが大変な時、子育て世帯を応援、また、安心して子育てができるまちづくりのために実施しています。

完全無償化や一部無償化で努力している市町がある一方で、野洲市の場合には財源論などに固執し、子育て支援の立場の思いが伝わってきません。この違いは何なのでしょう。

定例会議会は22日まで開催されます。学校給食の無償化を求める請願は最終本会議(22日/午後1時から)で採決されます。傍聴にお越しください。市議会ホームページでも視聴できます。

やす民報

日本共産党野洲市委員会
2024年3月12日 No.526

市政や市議会へのご意見
ご要望をお寄せください

小菅康子 比江668-3 (電話・FAX) 589-4971
工藤義明 小篠原879 (電話・FAX) 588-1856
野並享子 北野1-7-10 (電話・FAX) 587-0985
東郷正明 比江864 (電話・FAX) 589-4158

日本共産党野洲市委員会の見解をお知らせします

ホームページをご覧ください

共産党野洲市議団 検索